

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2025.11 Vol.19

発行：京都府商店街振興組合連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東
入函谷鈴町 78 (京都経済センター3 階)
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302
URL：https://syouden.or.jp

CONTENTS

インタビュー：竜馬通り商店街振興組合 / 商店街の取り組み / 商店街創生センター10周年記念フォーラム / 「業務効率化実践講座」受講者募集 / 企業から見る商店街の魅力 / and more…

次号予告

2026 年 1 月末発行

京都駅近鉄名店街商店街振興組合
(みやこみち) インタビュー



竜馬通り商店街振興組合
理事長 森 一起さん

商店街を経営し 京都のグルメ商店街を目指す

かつて城下町として栄え、時代に合わせて変化し発展してきた竜馬通り商店街。今号は森理事長に貴重なお話を伺いました。

活気ある現在の姿へ

竜馬通り商店街は、江戸中期に伏見城の城下町の一角に「南納屋町商店街」として生まれました。昔は八百屋や魚屋、肉屋などの食料品店が多く立ち並んでいましたが、時代の流れとともにその姿は変化し、現在は飲食店が中心の商店街として賑わっています。

森理事長が就任した10年前は空き店舗が非常に多く、現在の活気ある姿になるまでは数多くの苦労があったそうです。「小さな個店でも力を合わせて立ち上げれば大型店にも負けな魅力が育つ」と話す理事長。そこには、商店街も一つの会社として捉え、会社経営のように活動していくことが大切で、組織やチームワークも自然と生まれ、互いに支え合える温かさのある商店街へと変化できるとお話いただきました。

店舗に対する考え方と 目指す商店街イメージ

坂本龍馬が襲撃された寺田屋、伏見の酒蔵など、周辺には見

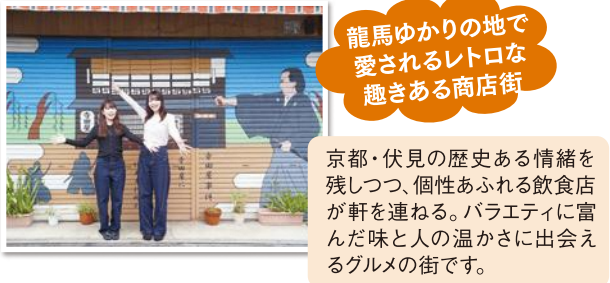
所も多い竜馬通り商店街。たくさんの観光客の姿を目にする一方で、地域の方々の利用も多く、若い方や子育て世帯、大学生など幅広い層のお客様も訪れています。森理事長の営む焼肉店「肉匠森つる」でも、近隣企業の方々や学生カップルの姿も来店されているそうです。

多くの商店街で挙げられる空き店舗の課題。「グルメ商店街」を目指す竜馬通り商店街では、不動産会社に飲食店の誘致を積極的に働きかけているそうです。また、チェーン店よりも、こだわりのある個人店が集まるように努めることで、商店街全体がより発展していくと考えられています。お店同士の仲が良く、助け合いの精神が根づいているのも特徴。「なんでも受け入れて、すべてをこなす」という理事長のモットーのもと、挑戦を恐れず進化を続けている商店街です。



インタビューを 終えて

取材を通して、人と人との絆と信頼で支えられてきた商店街だと改めて感じました。理事長の「商店街を一つの会社と考える」という言葉には、仲間を大切にしながら街全体を成長させていく強い意志が込められていました。個性豊かなお店が集まり、助け合いの精神が息づくこの商店街には、竜馬通りでしか味わえない魅力であり、時代の流れに合わせて進化を続ける姿に、地域の未来を照らす力強さも感じました。この度はご協力いただき、ありがとうございました。



商店街DATA

竜馬通り商店街振興組合
京都市伏見区車町 273
肉匠森つる気付
☎075-602-4129
https://ryomadori.com/
●創立：1994 年(平成6年)
●組合員数：28 店舗



イベントを足がかりに グルメ商店街を目指す 竜馬通り商店街振興組合

かつて城下町として栄えた伏見の一角にある竜馬通り商店街。個性豊かな飲食店が集い、地域とともに進化を続ける温かな商店街です。

地域も運営も皆が楽しむことで 盛り上がるイベント

竜馬通り商店街では、歴史資源や地域特性、商店街の強みなどを活かした数々のイベント事業に力を入れています。大きなものでは、長年続く坂本龍馬の命日にちなんだ「龍馬祭」をはじめ、グルメ商店街ならではの「クラフトビール祭り」など。観光客はもちろん、多くの地域の方で賑わいます。

クラフトビール祭りは日本酒の町「伏見」で新しいお酒の歴史を作り出したいという思いから始まった比較的新しいイベント。他地域のクラフトビールイベントとの差別化として、事前に商店街各店舗がビール会社とのコラボを行い、「ビールに合うオリジナルフード」も開発。そうすることで、独自性が生まれ、来場者により楽しんでいただけるそうです。

イベントは、商店街を知っていただく機会になるだけでなく、地域との交流や繋がりを深めるための重要な手段、と理事長。来場者も運営する商店街も皆が楽しむことで、商店街の活性化にもなっているそうです。

学生との連携事業の期待と課題

商店街として、これまで学生との連携事業を数々行ってきたそうですが、いずれも単年度連携が多く、長期間での深い連携になっていないことが課題だそうです。若者が就職を機に京都から流出する「京都離れ」が顕著になっているなか、京都の企業の良さを知ってもらい、また「将来やりたいこと」を学生のうちに見つけ出せる機会や場所、イベントなどの取り組みができればとお話しいただきました。

各店舗も潤う、 京都のグルメ商店街を目指して

「お店をハシゴして楽しむ、飲食店で賑わう商店街を目指しています」と話す森理事長。竜馬通り商店街には個性的で人気のある飲食店も多く、京都の「グルメ商店街」として認知してもらえるよう、さまざまな形で露出度を高めているそうです。

人が集まってなんとなく賑わうのではなく、お客様とお店が共に楽しみ、各店舗もしっかりと潤う商店街へ日々歩まれています。

お店のユニークな取組みや工夫をご紹介します

店舗Pick Up! 商店街図鑑[®]

竜馬通り商店街
振興組合

温かい交流から生まれる地域拠点

RUDIE (ルーディー)



自家焙煎した豆を使用し、エスプレッソマシンで一杯ずつ丁寧に抽出した本格的なコーヒーを提供するカフェ。一番人気のカフェラテは、多くのお客様からリピートされています。

お店は全面ガラス張りの開放的な造りが特徴で、通りを行き交う方々とはできるだけ目を合わせて会釈するようにしているそうです。こうしたアイコンタクトから温かい交流が生まれ、来店にもつながることも多いといいます。また、商店街の他店舗への卸もされているほか、前職のアパレル業の経験を生かしたオリジナルグッズの製造販売、他店とのコラボによる新しいメニュー開発など、他のカフェではあまり見られないような取り組みも積極的にされています。地域からも「子どもにも安心して利用できる、くつろぎの場」としての評価も高く、焙煎豆を通じて地域と商店街をつなぐコミュニティ拠点として、伏見の新しいスポットにもなっています。

営業時間 / 平日 11:00～17:00
土日祝 10:00～17:00
定休日 / 不定休
https://www.instagram.com/rudie_1941/



オリジナルグッズも
Instagram
はこちら

一人ひとりに応じた寄り添ったメニューを実践

京都伏見桃山フィットネスジム BM INTEGRATION



地元を盛り上げたい、地域の方々々の健康寿命を延伸させたいという思いからオープンした「BM INTEGRATION」さん。店名の由来である「Body (身体)」と「Mind (心)」の「Integration (調和)」を重視し、キックボクシングをはじめとする多彩なフィットネスレッスンを展開し、高齢者の方を中心に多くの方の心と身体の健康をサポートされています。特に力を入れている取り組みの一つが、高齢者向けの介護予防プログラム。「元気ック」というキャッチーなネーミングで、正しく安全にできるキックボクシングプログラムを理学療法士監修のもと、開発を始められているそうです。

レッスンの時間が楽しいだけでなく、来ていただく方の人生がより良いものとなるように、一人一人の心に寄り添う姿勢で、店主の廣野さんは地域の方々の健康寿命の延伸に貢献されています。

☎080-6186-9696
営業 / 完全予約制
定休 / なし
https://coubic.com/kickboxing



グローブをはめた坂本龍馬のシャッターアートは必見!
HP
はこちら

取材・文：京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科
上田敦奈・渡邊のそ美 (2年次)